一般質問

両津・相川病院でも透析治療を

中村良夫　議員

質問　佐渡市に約150人の透析患者がいる。1日4～5時間・週3日透析で血液浄化・水分除去を行い、生活に規制があるため通院等で苦労している。治療は佐渡病院1か所で実施しているが、市立病院である両津・相川病院や羽茂病院でも透析治療を受けられるようにすべきと考えるがどうか。

市長　両津・相川病院に人工透析機能を持たせることは医師の不足等含めて困難。病院別機能分担を図るうえ、佐渡総合病院の透析治療の充実を考える。

質問　医療の本質は何か。両津病院の髙宮院長は「地域との交流」と言われたが、市長はどう思うか。

市長　「その通り」と思いながらできない。道路を整備し、時間短縮し、施設集中によって質を良くし、別の効果もある。

透析はできるだけ地域に広くあった方がいいが、現況は必ずしもそうなっていないが理解してほしい。

前浜地区・小学校統合は

質問　統合は10年以上話し合われ、住民意向を積み上げ、地域全体として理解され前浜地区に学校は必要と佐渡市に引き継がれてきた。今後の取組みについて考えを問う。

教育長　子どもたちの教育環境を最優先に考えているので地域の意向を待ちたい。

質問　教育委員会は住民から意見・要望を聞いて努力されようやくここまでこぎ着けてきた。今後も住民と話し合い、合意を見出せる努力を続けるべきと考えるがどうか。

教育長　地元との話し合いがつくように積極的に検討・努力する。

合併後、佐渡市の小中学校・保育園統廃合案は

質問　学校・保育園統合の答申は住民意向でつくり上げたものか。

教育長　住民の意見を積み上げたというよりも、全域を代表する委員15人の答申である。

社会福祉課長　住民意見とは、どこまで住民と言っていいかという部分がある。保育園統合は次世代育成支援行動改革作成委員会の25人（民間委員9人）で意見をまとめた。

質問　答申では中学校の通学時間が片道50分・往復100分とある。子どもの安全や教育環境に配慮したものとは思えないが。

学校教育課長　スクールバス利用で50分以内をと考える。

質問　統合案は通園・通学で地域格差が出てくるがどうか。

社会福祉課長　統廃合すれば近い方もいれば遠い方も当然出てくる。一律とはいかない。

質問　サービス向上をうたいながら一方では、統合を進め不便を強いる事につながるがどう考えるか。

社会福祉課長　委員の中にもそのような意見もあったが結果として現案にまとめた。